

スタジオから

- 11月13・14日 当センターで第5回大学放送教育研究シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムの第2セッション「遠隔高等教育におけるニューメディアの活用」に必要な資料として、金沢工大・東工大・Hi-ovis・大阪工業会などを取材した番組、日本における「ニューメディア利用の現状」を制作しました。

- また第3セッション「テレビ・ラジオ・印刷教材」では、放送大学来年度開講予定の「教育社会学」をとりあげ、同一テーマでテレビ番組とラジオ番組を制作し、更にそれぞれの番組に対応する印刷教材をつくり、メディアの特性を生かした放送大学番組のあり方について研究発表をおこないました。
- 年度後半になると、番組収録がたて混んでくるのは毎年のことですが、特に来年度からは、スタジオ事情が苦しくなることが予想されます。

その解決法としては、年度当初つまり4月から計画的に収録を開始する必要があります。

そこではやばやと11月12日に、放送大学「社会と経済」専攻に関係する主任講師、番組担当ディレクター全員が集まる拡大部会が開かれ、来年度計画について話し合いました。

これで予定通り早期収録が始まれば、円滑なスタジオ運営ができるのではないかと考えています。

☆ スタジオ見学者（11月）

- 日本賞コンクール審査員
- 国立高等専門学校事務部長協議会

スタジオから